

ミセルベシクル転移を伴う相挙動については多く研究されているが、ベシクルのサイズ・サイズ分布を支配する因子、ベシクルの形態制御、分散安定性の制御、ミセルベシクル転移のダイナミクスや転移間での準安定構造、ベシクルの内膜と外膜の不均一組成分布など未解決の課題がある。また、ミセルベシクル転移のドラックデリバリーへの応用では、生体適合性のある界面活性剤などの利用も課題として上げられる。

将来予測と方向性

- ・ 5年後までに解決・実現が望まれる課題
 - ・ ミセルベシクル転移の相挙動
 - ・ ミセルベシクル転移を示す界面活性剤のライブラリー
 - ・ 生体適合性のある界面活性剤系でのミセルベシクル転移
- ・ 10年後までに解決・実現が望まれる課題
 - ・ ミセルベシクル転移のダイナミクスや転移間での準安定構造の決定
 - ・ ベシクルの内膜と外膜の不均一組成分布の解明
 - ・ 界面活性剤によるベシクルのサイズ、サイズ分布、形態を支配する因子

キーワード

ミセルベシクル転移／自発形成ベシクル／カタイオニック複合体／ドラックデリバリー

(執筆者：川崎英也)